

GSユアサの取組み・課題

2022.6.15

株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー



組織体制（2022/4～）



純粋持株会社

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

持ち株会社参加のグループ企業全体の経営戦略を策定・統括し、グループの企業価値の最大化を図る

事業会社

株式会社 GSユアサ

自動車用・産業用の各種電池、電源システム、受変電設備、照明機器、紫外線応用機器、その他電気機器の製造・販売

子会社

株式会社 ジーエス・ユアサ バッテリー

補修用自動車電池、自動車関連商品の販売

株式会社 ジーエス・ユアサ エナジー

自動車用、電動車両用及び産業用鉛蓄電池の製造・販売

株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー

航空機・宇宙・防衛分野の特殊用電池及び大容量鉛蓄電池、電源装置等の製品の設計・開発・製造・販売・技術サービス

株式会社 リチウムエナジージャパン

車載用リチウムイオン電池の開発・製造・販売

株式会社 ブルーエナジー

車載用リチウムイオン電池の開発・製造・販売

株式会社 ジーエス・ユアサ インフラ システムズ

電源機器製品、航空障害灯の製造・販売、据付工事、保守・点検・修理等

株式会社 ジーエス・ユアサ フィールドエンジニアリングス

産業用電池・電源システム・受変電設備の総合エンジニアリングサービス

他の連結子会社（44社）

- 新たに航空機にリチウムイオンバッテリー(LIB)を搭載するためには、RTCAの制定したDO-311の安全性規格を満足する必要がある。
 - *DO-311 revision A, Minimum operational performance standards for rechargeable lithium batteries and battery systems*

- RTCAは、2017年にこの規格を強化した。一例として次の要求がある。
 - バッテリーレベルでの過充電または加熱試験を行い、複数のセルを熱逸走させる。
 - セルから放出された火炎およびガスのバッテリーから流出は許容されない。
 - 火炎およびガスは、バッテリーに設置された排出パイプを経由して機体外にリリースされればよい。

- 現在、いくつかのリクエストを受けて提案活動を実施している。ただし、上記規格を満足するLIBを実際に開発するとなると、設計および認証にかかる期間・費用の観点からおおきな困難が予想される。